



▶▶ 第1部 13:30～

パネルディスカッション

「若者の目に映る伝統芸能の継承と未来」

高齢化・少子化が進む中、高知県は令和6年度から「担い手支援事業」に取り組み、学生や企業の方と保存会をマッチング。踊りや運営参加で地域の活性化や学びと出会いが広がっています。ゲストパネリストに高知県観光特使で俳優の菊池美香さんをむかえ、保存会と担い手となる若者が等身大の体験をトーク。幅広い世代にその魅力を届け、伝統芸能の“今”を、みんなでつなぎます。

Panel Discussion

panelists



愛媛大学特定准教授
(高知県史編さん文化財部会委員) 大本敬久さん



大利太刀踊保存会
会長 杉本忠広さん



赤野獅子舞保存会
代表 有光新五さん



津野山古式神楽保存会
副会長 嶋崎義豊さん



担い手の皆様
大学生・若者



あかのししまい
赤野獅子舞

安芸市赤野の大元神社と住吉神社に伝わる獅子舞で、各社の神祭で奉納されます。眠る獅子を「テガイ子」が起こすユニークな構成で、多くの演目で見られるユーモラスな動きも魅力。近年、担い手の減少で存続が危ぶまれていたものの、有志によって保存会が復活され、地域外から子どもたちを招くなど継承に取り組み、地域の誇りとして受け継がれています。

▶▶ 第2部 14:45～

芸能の演舞

Folk Performing Arts



おおりたちおどり
大利太刀踊

高知県鏡地域・大利に伝わる「太刀踊」で、地区にある新宮神社秋祭りで奉納されています。踊り手は二人を一組とし、紅白の鉢巻を締めて、終始太刀を手に踊る勇壮な踊りです。音頭取りが打つ拍子木のリズムに呼吸と気迫が揃う太刀捌きが見どころです。現在は保存会を中心に地元の小中学生に継承が図られています。



つやまこしぎかぐら
津野山古式神楽

津野町に伝わる神楽で、延喜13年(913)に津野の城主藤原経高によって三嶋神社が勧請された頃から舞い継がれてきたと伝えられています。演目は「天の岩戸」「大蛮」など、18節を超える大構成で、舞い納めには約8時間を要します。保存会が中心となり、町をあげた伝承活動が行われており、小中学校の授業や体験を通じ若い世代に「神楽」に触れてもらう機会を設けています。

高知県文化遺産総合活用推進委員会

【構成団体】高知県／(公財)高知県文化財団／(公財)土佐山内記念財団／高知県市長会／高知県町村会／高知県商工会連合会／高知商工会議所／(公財)高知県観光コンベンション協会